



チュラロンコン大学

Chulalongkorn University



●学部学生 約25,000人 ●大学院生 約12,000人 ●教職員 約8,100人

ホームページ <http://www.chula.ac.th>

交流協定締結年月日：2010年2月1日 主管学部：農学部



理学部食品工学科の新設棟



構内の伝統的な建築物



郊外サラブリでの加工実習施設風景

国際交流の特色

チュラロンコン大学は1917年にVajiravudh王（ラーマ6世）により設立され、彼の父の名前に因んでチュラロンコンと呼ばれるようになった。当時は行政学、工学、医学、文理学の4つの学部から構成され、初期原資や王家の宮殿を寄付し作られた。文理学部はラーマ6世の宮殿内にあった。1929年行政学部は法学部と政治学部に分かれた。1962年以降大学院教育に教育の主軸を移し、研究センターや研究所の設立を実施してきた。現在19の学部、23の大学院や研究施設等を有する総合大学であり、理学部には香川大学農学部卒業生が教員として活躍している。

交流実績（平成31年度～令和3年度）

年度	H31	R2	R3
受入・派遣			
学生の受入	1	0	2
学生の派遣	0	0	0
研究者・職員の受入	1	0	0
研究者・職員の派遣	2	0	0
オンライン交流参加者（本学）		1	1
オンライン交流参加者（相手機関）		40	14



交流協定調印式

教員からの声

チュラロンコン大学は、タイで最も古い最高の名門校です。チュラロンコン大学の先生、学生は超エリートですが、気さくな方が多く、まさしく微笑みの国タイといった感じです。私の研究室では、チュラロンコン大学理学部の海洋科学科 Lirdwitayaprasit准教授と、環境科学科 Srithongouthai講師と交流を続けています。両氏は、香川大学農学部にて留学し博士号を取得されています。現在、私の研究室では、チュラロンコン大学から1名の学生を受け入れています。私も、最近では、ほぼ毎年調査のためチュラロンコン大学にお邪魔して学術交流を深めています。

農学部教授 多田 邦尚

その他、理学部食品工学科や工学部応用化学科から毎年数名、短期留学生を受け入れ、香川大学農学部にて食品工学の研究や食品の安全に関する研修等を行い、学生交流を行っています。

農学部教授 田村 啓敏